

米海軍MH60ヘリの緊急着陸に対する意見書

3月5日午後1時45分ごろ、米軍嘉手納基地に向かっていた米海軍所属のMH60ヘリ2機が本市浜比嘉島の浜辺に緊急着陸した。米海軍は「悪天候のため予防着陸した」と説明しているが、ヘリが緊急着陸した浜辺は浜集落に隣接しており、近くには浜中学校があるなど一步間違えば住民に重大な危険を及ぼす恐れがあったことから、決して看過できるものではない。

しかも、浜比嘉島に隣接して浮原島訓練場があるにもかかわらず民間住宅地域に緊急に着陸することは通常では考えられないことである。いずれにしても提供施設区域外への緊急着陸は米軍の飛行計画及び危機管理の対応に問題があると言わざるを得ない。同時に、米軍ヘリは飛行ルートを明らかにしないまま、民間住宅地域の上空を恒常的に飛行を続けているが、今回の米軍ヘリの緊急着陸が、これまでに発生した米軍ヘリの墜落事故などを想起させ、地域住民に不安と恐怖を与えたことは、到底容認できるものではない。

これまで、本市議会は米軍に起因する事故等が起きるたびに再三再四にわたり「再発防止」・「安全管理」等を強く要請してきたが、またしてもこのような事態が起きたことは、安全管理に対する米軍当局の認識に疑念を抱くものである。

よって、うるま市議会は、市民の生命・財産を守る立場から、今回の米海軍MH60ヘリの浜比嘉島への緊急着陸に対し、厳重に抗議するとともに下記事項について強く要請する。

記

- 1．緊急着陸の詳細な説明責任を果たすこと。
- 2．米軍ヘリの航行について安全管理を徹底し、再発防止策を講ずること。
- 3．米軍ヘリの民間住宅地域上空での飛行を全面的に禁止すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年3月16日

沖縄県うるま市議会

あて先

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 沖縄及び北方対策担当大臣
外務省沖縄担当大使 沖縄防衛局長